

2017-2018 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2610 TOYAMA CITY ROTARY CLUB

国際ロータリー第2610地区
富山シティーロータリークラブ

国際ロータリー/クラブ番号 31803
創立 1996. 7. 27 承認 1996. 8. 21

NO. 25

平成30年2月22日発行



ロータリー:
変化をもたらす

前例会の記録

第931回 通常例会

と き 平成30年2月5日(月)
例 会 富山第一ホテル3階「天平の間」
進 行 SAA 齊藤行男さん

- 開 会 点 鐘 清田会長
- ソ ン グ 斉 唱 国歌、奉仕の理想
- 四 つ の テ ス ト 清田会長
- 会 長 挨 拶 清田会長
- 幹 事 報 告 齊藤幹事
- 各 委 員 会 報 告
- 誕 生 日 御 祝 神保 徹さん(2/7)、高田 浩さん(2/10)、嶋 直樹さん(2/13)
大坪修身さん(2/20)、大田ゆかりさん(2/11)、森 晴美さん(2/13)
米田雅子さん(2/17)、浅野久美子さん(2/22)、田村須美さん(2/22)
- 結 婚 記 念 日 御 祝 稲田礼司さん(2/12)、嶋 直樹さん(2/22)
- 会 員 卓 話 「私の酒造りの歩み」富美菊酒造(株) 代表取締役 羽根敬喜氏
- 閉 会 点 鐘 清田会長

■ 出席報告 ●出席率向上にご協力をお願いします。

当 日	2/5(月)	45(7)/84	54.27%
前 回	1/29(月)	44(3)/84	52.38%

ニコニコボックス

●おかげ様で無事退院しました。

- 誕生日祝をいただきました。
- 妻の誕生日祝をいただきました。
- 誕生日祝をいただきました。

齊藤好一さん
大坪修身さん
森 一夫さん
鷲塚一夫さん



2月の
ロータリーレート
1\$=110円
1月は、
114円でした。



夜間例会・チャーターナイト記念懇親会

- と き 平成30年3月12日(月) 18:30~
- と ころ 富山第一ホテル3階「天平の間」
- 会 費 8,000円
- 余 興 シティーバンドの歌と演奏をお楽しみいただきます。



※出欠のご返信は3月2日(金)までをお願いいたします。



ワインクラブ第15回ワイン会

「タイ料理とワインを楽しむ会」

- と き 平成30年3月7日(水)
- 時 間 18:30~
- と ころ 喃楽別館『ナンラク+203』
- 会 費 6,000円 ●定 員 16名
- ゲスト ソムリエール島坂めぐみさん
- ・料理 タイ料理 喃楽 中川幸夫さん
- ・ワインセレクト 米三 増山 輝さん

本日の予定2月22日(木)

と ころ : 富山第一ホテル 3階「天平の間」
富山第二分区 I.M. 12:30~14:00
【記念講演】 「地質学と私たちの暮らし」
富山大学名誉教授 理学博士 竹内 章 氏

次回の予定2月26日(月)

と ころ : 富山第一ホテル 13階
【通常例会】 12:30~「ルミエール」
【会員卓話】 「同族株から事業承継
を考える」内外薬品(株)
代表取締役会長 笹山和紀氏

~ルミエールメニュー~

- ・アメリカン
クラブハウスサンド
- ・フライドポテト
- ・コーンスープ
- ・懐かしの焼きプリン
- ・フルーツ



富山シティーロータリークラブ

例会日: 月曜日 12時30分

会 場: 富山第一ホテル3Fまたは13F 富山市桜木町10-10 TEL(076)442-4411

事務所: 富山第一ホテル5F 富山市桜木町10-10 TEL(076)441-1737 FAX(076)441-2824

E-mail: jimukyoku@toyama-city-rc.jp http://www.toyama-city-rc.jp

事務局携帯 090-8703-1996 携帯メール toyamacityrc@docomo.ne.jp



「私の酒造りの歩み」

富美菊酒造(株) 代表取締役 羽根敬喜氏

こんにちは、富美菊酒造の羽根です。本日の卓話の演題は、「私の酒造りの歩み」とさせていただきます。まずは、私の酒蔵の紹介をさせていただきます。私の酒蔵は、大正5年に、富山市の百塚で創業いたしました。創業以来、立山連峰の伏流水を仕込み水に、富山県内で採れます五百万石、雄山錦、山田錦などの酒米を使いまして酒造りを大正5年より続けさせて頂いております。日本酒の酒蔵としては、どこの地方都市にもある普通の酒蔵ですが、全国に1200~1300あると言われる他の多くの酒蔵との大きく違う特徴が、ひとつあります。それは、年間を通じて365日体制で酒を仕込んでいる点です。全国のほぼほとんどの酒蔵は、秋は、9~10月から春は3~4月までに酒造りを終えます。そのため私たちの酒蔵は、年間を通じてフレッシュなしぼりたてのお酒を、年間を通じて市場に提供させて頂ける点が他の多くの酒蔵との違いであり、特徴であります。

次に私のことについてですが、私は平成3年に学校を卒業し、平成3年に協和発酵という会社に入社させて頂き、3年間の期限付きで、酒造りの現場で修業をさせて頂きました。私の小さい時からの日本酒のイメージは、父親が、大麥酒が強くて、飲もうと思えば、一晩で一升を空けるくらい酒が好きな人でした。別に酒を多く飲むことに何も感じませんでした。飲むと明るいお酒と言うよりむしろ反対のお酒でしたので、あまり酒にいいイメージを持ってませんでした。また、私が小さい時、冬になると新潟から酒造りの蔵人さんが、住み込みで働いていました。そして春を迎え、酒造りを造り終えた、お祝いを酒蔵のお座敷ですのですが、新潟からの蔵人さんたちは、まもなく新潟に帰れるとの思いで、酒宴が、始まると最初は、和やかな雰囲気が始まるのですが、お酒が進む中、一冬、寝食を共にし、相性が合う人、合わない人も出てくるのか、宴会でなくてもよい仕事の話になり、殴り合いのけんかが始まるのをみんなが止めるのを何度か見て、どうしてお酒を飲むと人は、あなってしまうのかと、お酒に対していいイメージを持たなくなりました。

ですからお酒にも酒蔵にも興味も関心も持ってませんでした。小さい時から、父に、私より7歳上の兄と二人で酒蔵を継ぐのだと、うるさく言われていたので、やる気も気概もないまま、父に言われるまま、協和発酵さんのお世話になりました。今思うと、やる気も気概もないまま、協和発酵さんの酒造りの現場に入れて頂き、仕事に対する真摯な心構えのないまま、仕事に臨み、現場の先輩方には、失礼なことをしていたと反省しております。3年間の酒造現場での修行を終え、協和発酵さんを退社するさい、現場の先輩方に送別会を開いて頂きました。先輩方からは、「いいか、悪いことは言わない、富山に帰ったら、間違っても自分で、酒を造ろうと思うな、酒造現場の杜氏にまかせろ、今まで、色々な酒蔵の息子を預かってきたが、今まで預かってきた中でお前ほど、酒造りのセンスのない奴は、見たことがないぞ。」との言葉を頂き富山に帰りました。平成7年1月に富山に帰りましたが、協和発酵の現場の方から頂いた言葉もあり、帰りました最初の冬だけ、酒造りの現場を手伝いましたが、その後は、お酒の販売の仕事にまわりました。私が、富山に帰りました平成7年ごろは、清酒を含むアルコール飲料業界は、大転換期を迎えていました。酒造業界では、級別が廃止され、また流通面でも、財務省、国税局の規制で守られていた小売業の免許が、ほぼ自由化に近い状態になり、また今まで小売りの店頭では、公定価格でしか販売が出来なかった値段も自由化され、富山の街の中にもお酒の量販店ができ、一つの町内に何件もあった街の小売業の酒屋さんが、みるみる内に廃業されたり、倒産されたり、コンビニエンスストアに形態を替えられたりしていきました。我々の酒蔵のお酒を販売頂いていた街の小売業の酒屋さんの衰退は、つまりは、私の酒蔵の経営にも大打撃でした。平成以降、ますます、日本人の食卓や夜の街から、日本酒が、飲まれなくなる中、きっと富山の自分の酒蔵に、帰っても良いことは、ないだろうと覚悟をして帰りましたが、私の予想をはるかに超える惨状が、待っておりました。富山に帰ってみてどうやら私のなすべきことは、蔵の代継ぎをすることではなく、蔵の幕引きが、私の仕事になりそうだと、確信しました。多分、このまま何もしなかったら、蔵は、5年後、7年後、いや間違いなく10年後には、蔵は、無くなっているだろうと思いました。絶望な状況の中、座して死を待つより、なんとかしなくてはと、抵抗を試みようと思いました。まずは、我々の仕事は、もの造りなのだから品質を向上させようと、金沢国税局や全国の新酒鑑評会で、賞の受賞歴を多く持つ杜氏(酒造りの職人)をスカウトして来ました。狙い通り、すぐに品評会では、賞を受賞してくれましたが、しかし蔵のお酒の売上は、以前よりは売上の落ち幅は、ゆるくなったものの、売上は、伸びませんでした。そしていろいろ悩んでいた時、金沢の酒販店さんの紹介で、北海道のお酒のコンサルタントの方とお会いさせて頂く機会を頂きました。コンサルタントの先生には、率直に今の蔵の現状と品評会で多くの受

賞歴を持つ杜氏を新しく迎え入れたのに、お酒の売上が、伸びないと相談しましたところ、「一度、蔵の現場を見せてほしい」と言われ、富山に来て頂きました。蔵を見て頂きました後、コンサルタントの先生から、ズバリ、「これじゃ、お酒売れないよ」と言われました。「あなたの蔵の現場は、1本10,000円の酒は、10,000円の手間暇で、5,000円のお酒は、5,000円の手間暇で、2,000円のお酒は、2,000円の手間暇で、値段に合わせた造り方をしていますね」と、「これではお酒は、売れないよね。」とそして先生からは逆に「なんで日本車は、世界で売れていると思いますか？」と質問を受けました。すかさず、「それは、日本車の性能が他国の車に比べ性能が高いからでは、ないですか？」と答えますと、「それは、日本車のメーカーのものの作りに対する真摯な姿勢があるからではないでしょうか。」と言われました。「日本車のメーカーは、ホンダでもトヨタでも、F1という世界最高峰の技術を競う場で、技術を磨き、その最高の技術であるABSやエアバックなどの技術を惜しげもなく、カローラなどの大衆車にまでその技術を落とし込んでいます。」と「そのもの作りに対する崇高さが、日本車が、世界で売れている理由ではないでしょうか。」と「日本酒も同じではないでしょうか」と「折角色々なお酒の品評会で賞を獲る技術があるのなら、商品の値段に合わせた酒造りをするのではなく、すべてのお酒を自分たちのできる持てる最高の技術でお酒造りをすべきでは、ないでしょうか。」と言われました。自分としては、なんと素晴らしいお話を聞けたと思い、早速、杜氏に、「杜氏さん、今日はお酒のコンサルタントの方から、いいお話を聞けましたよ。」とコンサルタントの先生からお聞きした蔵のすべてのお酒を最高の技術である大吟醸を仕込む技術でお酒を仕込もうとの話をしたところ、杜氏からは、「冗談は、止めてくださいよ。」と「一冬に1~2本しか造らないお酒だからあれだけ手間暇を掛けて造れるのです。」と「蔵の全部の酒を大吟醸のように仕込みをしたら、わしらの体が壊れちまいます。やりたいのなら、どうぞ経営者の方々にやって下さい。」との答えが、返ってきました。多分、蔵にとってここが正念場だと思い、杜氏に、次ぎのように言いました。「解りました、では、大吟醸の仕込みの中で、一番大変な、原料処理(米洗い)をこちらでやりましょう、その代り杜氏さんこちらが、完璧な原料処理を行いますから、あなたは、その完璧に仕上がった材料で、あなたの持つ最高の技術で、最高のお酒に仕上げてください。」と言いましたら、杜氏からは、「やれるものなら、やってみて下さい。」と、「それと私が、新潟から連れてくる職人には、原料処理の仕事に付かせないで下さい。」とのことでした。それで、一冬の間、朝5時から、夕方の3時まで、昼食の5分間を除いて、杜氏の仕込みも手伝いながら、今は亡き兄とアルバイトの人と延々と酒米を洗い続けました。そして冬が終わり、春になるころ杜氏は、蔵から自身が造ったお酒を何本か蔵からもらい、新潟に帰って行きました。杜氏たちは、もらったお酒を夏に杜氏仲間で、持ち寄りお互いに意見交換を行います。多分、杜氏自身持ち寄り会で、自身の酒に劇的な変化が、起きていたことを感じたようで、翌年からは、相変わらず、原料処理の仕事は、手伝いませんでしたが、妨害は、しなくなりました。この年以降、本格的に酒造りをするようになった私ですが、その杜氏が、3年後体調を崩し引退後、広島杜氏、九州の杜氏に蔵に来てもらいましたが、腕のある杜氏たちでしたが、酒造りに対する根本部分で、お互いにしっくり来ず、それぞれ1年ずつで、蔵を出て頂きました。その後、京都の伏見の蔵で、大吟醸だけを専門的に製造していた越後杜氏に、2年間、蔵に来てもらい、いっしょに仕事をしました。その越後杜氏が、引退後、いよいよ自分自身で酒造りをしようと思い、酒造りを始めました。でもその時は、まさに、協和発酵を辞め富山に帰ったとき感じた、蔵があと何年持つのかと感じてから、13年が過ぎ、蔵として経営面で、もっとも苦しい時期でした、心の中では、ひょっとしたら自分の蔵でお酒を造るのは、今年が最後になるかもしれないと、感じた瞬間、妙な雑念(資金繰りのことなど)が消え、身体の妙な力みが、抜け、酒造りだけに没頭できました。不思議なもので、雑念や変な欲が消えたせいなのか、その年に出来たお酒は、今思うと妙に迫力と言うか、自分で言うのもおかしい話ですが、凄みがあった気がします。自分の気のせいかと思いましたが、その当時のお酒を飲んで頂いた消費者の方や代理店の酒販店さんからもあの時のお酒の味が、忘れられないとおっしゃってもらうことが今でもあります。きっとあの時、お酒の神様が、降りて来て下さって、背中を押して下さったのだと思います。その年酒造りを4月で終えました時、気が付くと10月から4月までに、1年分のお酒を仕込んだはずでしたが、蔵の中のお酒が空になっていました。それで、慌てて5月からまた、酒造りを開始し、気が付くとそれからずっと1年中酒を造るようになっておりました。今思いますと、北海道のコンサルタントの先生との出会いは、自分自身にとって大きな出会いであったと思います。先生からは、もう一つ「酒造りは、技術も大切だが、それ以上に気が大切だ。」とも言われました。「気を込めること、日本酒は、ただの液体だけど、気を込めることにより、その液体の中に、何か人の心に伝わるものが、生まれるのではないか。」とも言われました。今では、就活シーズンが、始まると若い方たちが、酒造りをしたいと熱意を持った目で蔵を訪ねて頂けるようになり、彼らから若いエネルギーを頂いておりますが、彼らには、一瞬の燃えるような情熱は、すばらしいが、酒造りでは、永く一定の想いで想い続ける想いを大切にしてほしいと伝えています。ご静聴頂きましてありがとうございます。



永森商事株式会社

代表取締役社長 永森 豊隆

本社 〒930-0028 富山市荒町 5-5

TEL 076-421-1041 FAX 076-425-4770

医薬・原薬事業



独自の技術、グローバルな品質保証でお客様のニーズにお応えします。

ライフサイエンス事業



天然素材の安全性と有用性を活かした機能性素材や独自の賦形剤による、医薬品から健康食品、化粧品など幅広い用途開発に取り組んでいます。

リテール事業



美しく、健康で質の高い生活を誰もが手にすることができるように、すぐれた健康食品などを生活者の皆様にお届けしています。



医薬品製造・販売、医薬原薬受託合成・加工、食品添加物製造・販売

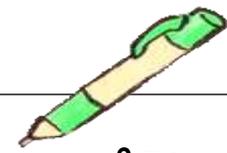
代表取締役社長 西田 光徳

富山県中新川郡上市町横法音寺 55

TEL 076-472-2323 FAX 076-472-2330

富山シティロータリークラブ スケジュール

2018 **2** 月 January

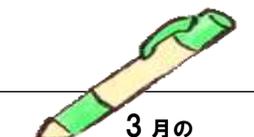


2月のサインメイクアップ

- 5日(月) ANAホテル**
富山大手町RC
創立9周年記念例会
サイン時間 15:30~19:30
- 19日(月) ANAホテル**
富山大手町RC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 15:30~19:30
- 20日(火) 電気ビル**
富山RC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 9:30~13:30
- 20日(火) 第一ホテル**
富山みらいRC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 9:30~13:30
- 21日(水) グランテラス**
富山中RC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 9:30~13:30
- 22日(木) 電気ビル**
富山西RC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 9:30~13:30
- 23日(金) 電気ビル**
富山南RC
富山第二分区 I.M.へ例会変更
サイン時間 9:30~13:30

日	月	火	水	木	金	土	
	5 ANA ホテル 大手町			1	2	3	
4	5 通常例会 (3階飛鳥の間) 【理事会】12:00~3階「梓の間」 【会員卓話】「私の酒造りの歩み」 富美菊酒造(株)代表取締役 羽根敬喜氏		6	7	8	9	10
11	12 振替休日 例会はございません。		13	14	15	16	17
18	19 第二分区 I.M.へ 例会変更	20 電気 ビル 富山	21 グラン テラス 富山中	22 富山第二分区 I.M. 12:30~14:00 ※昼食は11時半からお召し上がり いただけます。 ところ 富山第一ホテル3階 記念講演：講師：富山大学名誉教授 理学博士 竹内 章氏 演題：「地質学と私たちの暮らし」		23 電気 ビル 富山南	24
	19 ANA ホテル 大手町	第一 ホテル みらい			22 電気 ビル 富山西		
25	26 通常例会 (13階ルミエール) 【会員卓話】「同族株から事業承継 を考える」内外薬品(株) 代表取締役会長 笹山和紀氏		27	28			

2018 **3** 月 March



3月のサインメイクアップ

- 8日(木) 電気ビル**
富山西RC
職場訪問例会のため
サイン時間 9:30~13:30
- 20日(火) 第一ホテル**
富山みらいRC
職場訪問例会のため
サイン時間 9:30~13:30

日	月	火	水	木	金	土		
				1	2	3		
4	5 通常例会 (3階飛鳥の間) 【理事会】12:00~3階「梓の間」 【会員卓話】「テレビの将来像を探る」 富山テレビ放送(株) 代表取締役社長 中西 修氏		6	7	8 電気 ビル 富山西	9	10	
11	12 夜間例会 チャーターナイト記念懇親会 18:30~ ところ 富山第一ホテル3階		13	14	15	16	17	
18	19 会長 エレクト セミナー	19 クラブ指定休日 例会はございません。		20 第一 ホテル みらい	21 春分の日	22	23	24
25	26 通常例会 (13階ルミエール) 【卓話】国際ロータリー 第2610地区職業奉仕委員会 委員長 林 清滋氏		27	28	29 クラブ 指定休日 富山西	30 クラブ 指定休日 富山南	31	

